

「個性」

小 六

みなさんは、自分の性格は好きですか。みんながみんな自分の性格が好きかわけではありません。でも、自分の性格は他に一人ももっていない、世界に一つだけの個性です。だからみなさんも、自分の性格を好きになってはどうでしょう。

私がなぜこのように思うかというと、私にはこんな経験があったからです。私は、三年生になってからずっと青や緑が好きでした。そのときはあまり気にしていなかったのですが、何も思っていないませんでした。でも、五年生後半になったとき、友達に、

「体の中身、半分男の子みたい。」
と言われてすごくショックでした。「なんで自分の好きなものや好きな色が悪口を言われなきゃならないの。」と思いました。それから個性について考えるようになりました。

もしも、自分が少し他の子と性格がちがっていたとします。例えば、「男の子なのに赤やピンクが好き。」や「女の子なのにスカートをはかずにズボンをはいている。」などいろいろあるかもしれません。でも、その自分の性格は、人とちがっているのではなくて、それは、自分だけの個性です。決してその他の子とちがっている性格は悪くありません。悪いのは、その人の性格をちゃんと受け止めずに、「男の子なのに

ピンクが好きなの。」などとバカにした
り、悪口を言ったりする子たちです。
別に「男の子なのにピンクが好き。」で
もいいんです。女の子でもズボンをは
いていてもいいんです。でも、それを
見て、悪口を言ったり、からかったり
するのではなくて、「その色いいね。」
や「そのズボンかわいいね。」などと声
をかけて、その子だけにしかない、個
性を見つけることが大切なのではない
でしょうか。

そうすれば、その子にも自信がつい
て、たくさん個性を出せるようにな
ります。

私は、これから、いろんな個性を
もっている子をちゃんと受け止めて、
その子のすてきな所を見つけないと思
います。

みなさんも、いろいろな子とたくさ
ん話をして相手の個性を見つけてみて
ください。